

2025 年 2 月 6 日

沖縄県がん診療連携協議会

委員各位

幹事長

増田昌人

今年度の連携協議会の審議事項のその後について

<令和7年度第1回連携協議会（5月9日開催）>

審議事項1 「第4次沖縄県がん対策推進計画（当協議会版）」の進捗状況について
（ベンチマーク部会）

➡特になし

審議事項2 北部・宮古・八重山医療圏におけるがん種ごとの診療目標について（離島・へき地部会）

天野委員より、特に地域で実際に医療を受ける患者さん、ご家族の方の理解を得ていただくことが重要、患者会には個別に説明が必要。

2025年7月18日、19日にかけて、北部医療圏に対して、①名護市の渡具知市長、健康増進課長ら4名に対して、北部医療圏における診療目標を説明し、理解を得た、②患者会（オストミー協会やんばる友の会の会長以下3名）に対して、同様に説明を行った、③一般市民向け講演会を行い、北部医療圏における診療目標を説明した。

2025年8月22日、23日には宮古医療圏に対して、①宮古島市の砂川副市長、市民生活部長ら4名に対して、宮古医療圏における診療目標を説明し、理解を得た、②患者会（まんま宮古、ゆうかぎの会）の4名に対して、同様に説明を行った、③一般市民向け講演会（参加者43名、新聞社3社）を行い、宮古医療圏における診療目標を説明した。

➡2025年11月21日(金)、22日(土)には八重山医療圏に対して、①市民保健部長、保健福祉センター長に対して、八重山医療圏における診療目標を説明し、理解を得た、②患者会(ナネーズ・ナネーズslow・やいまゆんたく会)の7名に対して、同様に説明を行った、③一般市民向け講演会(参加者35名)を行い、八重山医療圏における診療目標を説明した。

審議事項3 「がん診療を行う医療施設一覧」掲載要件見直しについて(医療部会、ベンチマーク部会)

(1) 令和7年度第1回連携協議会(以下、協議会)、資料11-3について、天野委員より、厚労省の文言にならない、6(1)に「心理的な障壁を取り除くことができるよう留意すること」を追記していただきたい、また、5に「遺伝カウンセリングを行う体制を有すること。それが難しい場合は、他の遺伝カウンセリングを有する医療機関と連携する体制を整えること。」の文言を追記していただきたいとの意見があった。

➡『「がん診療を行う医療施設」の体制整備の要件』において、上記委員の意見の通りに修正を行った。

(2) 令和7年度第1回協議会、資料11-5について、松永委員より、胃がんの外科的治療は12例以上ということだが、ハイボリュームセンターの件数は、30例以上(※第1回協議会資料、P568参照)となっていることについて指摘があったため、件数について、ワーキングの方で再検討することとなった。

➡胃がんWGで再度検討し、12例から15例にした。

(3) 令和7年度第1回協議会資料、11-8について、戸板委員より日本放射線腫瘍学会認定施設Cとあるが、AとBも条件を満たしているので、Cの文言は記載なしで良いのではとの意見があり、そのように修正することとなった。

➡上記委員の意見の通りに修正を行った。

審議事項4 各市町村に対する「若年がん患者等支援事業」への参加の働きかけについて(小児・AYA部会、離島・へき地部会)

(1) 原案通り、承認された

➡現在、この制度を導入していない34市町村に対して、依頼文書を送付した。

(2) 玉城先生よりメディアをいれて発信した方が良いのではとの意見があり、発信方法

について検討することとした。

➡小児・AYA 部会において検討予定である。

<令和7年度第2回連携協議会(8月1日開催)>

審議事項1 沖縄県における医療機関の集約化と分散化について

(1) 報告:「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」の概要 (ベンチマーク部会)

➡報告事項なので、特になし

(2) 審議:医療機関の集約化と分散化に関する協議会の今後の方針 (医療部会)

➡修正意見はなかったため、特になし

(3) 審議:選定条件の見直し期間の短縮について(提案) (医療部会)

➡原案通り可決された。

2025年8月27日付けで、連携協議会鈴木幹男議長から沖縄県保健医療介護部系数公部長に、提案書(琉大西総第309号)を送付した。(資料10-2)

2026年1月15日に、沖縄県保健医療介護部系数公部長から、連携協議会鈴木幹男議長に文書(保健第434号)が送付された。連携協議会の提案通り、今後は3年ごとに掲載要件の見直しを行うことになった。(資料10-3)

(4) 審議:選定された医療機関に患者を集約するために行うこと(提案) (医療部会)

➡修正意見はなかったが、いくつかの関連分野も含めてのご意見や情報提供があった

◎天野委員から、①医療機関名の公開だけでは患者はイメージがわからないので、「広島県がん医療ネットワーク」の模式図等を参考に分かりやすく周知をした方がよいとのご意見、②東北大学病院のMRリニアックの導入によりへき地の患者の負担が軽減できた事例の紹介

➡①については、連携協議会事務局で検討し、広報の際の参考にいたします。②については、医療部会と離島・へき地部会へ紹介します。

◎西原委員から、離島の外科医療を、がんだけではなく救急医療や非がん患者に対する外科医療も含めて、今後も広く議論をしていってほしい。

➡この点については、今後も医療部会と離島・へき地部会で議論を継続していきます

◎田名委員代理の玉城医師から、離島医療、特に県立宮古病院と八重山病院の医師の充足について、沖縄県医師会の今後の方向性の報告があった

➡今後、医療部会と離島・へき地部会で報告します

<決定事項のその後>

1 検診後の精密検査等を行っている医療機関に対して、「がんと診断した場合は、選定された医療機関へ紹介を促す」依頼文書を送り、協力を依頼する

➡2026年1月16日に、対象の83医療機関に送付した。(資料10-4)

2 県内のすべての医療機関に対して、「がん医療においては選定された医療機関がある」ことを理解していただくための依頼文書を送り、協力を依頼する

➡2026年2月2日までに対象の801医療機関に送付した。(資料10-5)

3 県内医療機関でがんの相談支援を行っている部署に対して、「がん医療においては選定された医療機関がある」ということを理解してもらえるように、年に数回ある研修会において、研修に組み込んでもらう。

➡情報提供・相談支援部会で検討を行い、今年3月中に、研修会を行う予定である。
(資料なし)

4 沖縄県民に対して、

(1) 毎年発行している「おきなわ がんサポート ハンドブック」において、選定された医療機関への受診を促すような文言修正を行い、受診を促す

➡がん診療を行う医療施設一覧のページに、「まずはこれらの施設での診療をおすすめします。」の一文を加えた。(資料10-6)

(2) 各地の患者会に対して、選定された医療機関を周知するための説明会を行う

➡北部医療圏：オストミー協会やんばる友の会

宮古医療圏：まんま宮古、ゆうかぎの会

八重山医療圏：ナネーズ、ナネーズ slow、やいまゆんたく会

の6団体に対して説明を行った。(資料なし)

(3) リレー・フォー・ライフ・ジャパンの開催時に出店して、選定された医療機関を周知するための説明会を行う

➡リレー・フォー・ライフ・ジャパンに参加した方々に説明を行った。(資料なし)

(5) 審議：「がん診療を行う医療施設」の体制整備の要件について(修正案) (医療部会)

◎埴岡委員から、臨床試験等に対する積極的な情報提供をしていることを要件に入れたほうがよいとのご意見

➡体制整備の要件の7「がん遺伝子パネル検査(がんゲノムプロファイリング検査)」と8 臨床試験及び治験の項目に、積極的な情報提供の条件を追加した(令和7年度第2回協議会の審議事項1(5)で報告済)

(6) 審議：がん種ごとの選定条件 (①脳腫瘍(脳・中枢神経系)、②頭頸部(口腔/咽頭/喉頭/鼻腔・副鼻腔/唾液腺)、③甲状腺、④食道、⑤胃、⑥大腸、⑦肝臓、⑧胆道(胆のう・胆管)、⑨膵臓、⑩肺、⑪骨・軟部腫瘍、⑫難治性皮膚がん、⑬乳房、⑭婦人科がん(子宮頸部、子宮体部、卵巣)、⑮泌尿器がん(前立腺、腎、膀胱)、⑯血液腫瘍、⑰小児がん、⑱AYA世代のがん、⑲希少がん、⑳遺伝性腫瘍)
(ベンチマーク部会)

◎平良孝美委員より、認定看護師の名称の間違いの指摘があった。

➡がん薬物療法認定看護師を、がん化学療法看護認定看護師またはがん薬物療法看護認定看護師に変更しました。

◎銘苅桂子 小児・AYA部会副部会長(陪席)からは、小児がんの要件に、妊孕性温存の項目を入れたほうがよいとのご意見

➡小児がんWGおよびAYA世代のがんWGで議論を行いました。その結果、小児がん分野では既に行われているので選定要件には入れない、AYA世代のがん分野では重要なので選定要件に入れるということになりました。

審議事項2 「第4次沖縄県がん対策推進計画(当協議会版)」の進捗状況について
(ベンチマーク部会長)

➡特に協議はなかったなので、対応は特になし

<令和7年度第3回連携協議会（11月7日開催）>

審議事項1 病棟における学齢期の入院患者へのWi-Fi無料開放について(要望)（小児・AYA部会）

➡原案通り可決された。

それを受けて、琉球大学病院では、無料開放を行うための作業中であり、2025年度末までには実施の予定である。

審議事項2 沖縄県における医療機関の集約化と分散化について（医療部会）

➡原案通り、可決された。

2026年1月末までに、連携協議会鈴木幹男議長から、沖縄県保健医療介護部糸数公部長に、報告書を送付予定である。

→2026年1月19日に送付済み(資料10-7)

審議事項3 「第4次沖縄県がん対策推進計画(当協議会版)」の進捗状況について（ベンチマーク部会長）

➡特に協議はなかったなので、対応は特になし

琉大西総第 309 号

令和 7 年 8 月 27 日

沖縄県保健医療介護部
部長 糸数 公 殿

沖縄県がん診療連携協議会議長
(琉球大学病院長)
鈴木 幹男
(公印省略)

集約化と分散化を図るための選定条件の見直し期間の短縮について (提案)

日頃から、本県におけるがん診療体制への充実にご尽力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、第 6 次沖縄県医療計画及び第 7 次沖縄県医療計画では、「診療機能の集約化と分散化を図るための選定状況の見直し期間を、現行の 6 年ごと」としておりますが、本年 8 月 1 日に開催された本協議会の第 2 回会議において、下記のとおり「現行の 6 年ごと」から「3 年ごと」に変更することを、沖縄県に提案することが議論され、承認されました。

つきましては、以下のとおり、見直し期間の変更を提案しますので、お取り計らいよろしくお願いいたします。

【変更】

「診療機能の集約化と分散化を図るための選定状況の見直し期間を、現行の 6 年ごと」から、「診療機能の集約化と分散化を図るための選定状況の見直し期間を、3 年ごと」に変更

【理由】

第 6 次沖縄県医療計画及び第 7 次沖縄県医療計画に基づいて、6 年ごとに、選定条件を取り決め、また見直しを行ってきた。しかし、がん医療を取り巻く環境の変化が早くなっていることから、よりきめ細やかな条件の見直しをする必要がある。

については、今後は、3 年ごと（各期の医療計画の期間中に 2 回）の見直しを提案する。

本文書に関する問合せ先：
琉球大学病院
がんセンター 石川
電話： 098-894-1528
Mail：hk209555@jim.u-ryukyu.ac.jp

保健第 434 号
令和 8 年 1 月 15 日

沖縄県がん診療連携協議会
議長 鈴木 幹男 殿

沖縄県保健医療介護部
部長 糸数 公
(公印省略)

「がん診療を行う医療施設一覧」掲載要件の見直し期間の短縮について

謹啓 時下ますます御清栄ことと存じます。

本県の保健医療行政の推進につきましては、平素より御理解、御協力を賜り感謝申し上げます。

さて、県では沖縄県医療計画に基づき、県民に対して適切な医療機関の選択及び医療の適切な利用について普及啓発を図っており、「がん分野」については「がん診療を行う医療施設」として一定の要件を定め、患者が適切な医療を受診できるよう県ホームページ等へ掲載し周知を行っております。

今般、令和 7 年 8 月 27 日付け琉大西総第 309 号でご提案いただいたみだしのことにつきましては、がん医療を取り巻く環境変化の状況に鑑み、掲載要件について 3 年ごとに見直しを行うこととしますので、引き続き御協力を賜りますようお願いいたします。

沖縄県保健医療介護部
健康長寿課 がん対策班
担当：上原・古波津・山里
電話：098-866-2209
e-mail：aa030320@pref.okinawa.lg.jp

琉大西総第 610 号

令和 8 年 1 月吉日

各医療機関

施設長 殿

沖縄県がん診療連携協議会 議長

(琉球大学病院長)

鈴木 幹男

(公印省略)

沖縄県が選定した「がん診療を行う医療施設」へ
がんと診断した患者を優先的に紹介する件について（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本県のがん医療に関し格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「沖縄県がん診療連携協議会」（以下「連携協議会」という。）は、各都道府県知事宛て通知「がん診療連携拠点病院等の整備について」（令和 4 年 8 月 1 日付け 健発 0801 第 16 号 厚生労働省健康局長通知）に基づき、県内のがん対策を強力に推進することを目的として設置されている協議会です。

連携協議会では、沖縄県からの協力依頼を受け、「がん診療を行う医療施設一覧」の掲載要件について提案を行ってまいりました。現在、沖縄県はこの掲載要件に基づき「がん診療を行う医療施設」の選定を行っており、その結果は県ホームページに公表されています。（※ URL は添付資料に記載）

さらに、都道府県衛生主管部（局）長宛て通知「2040 年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に係る基本的な考え方及び検討の進め方について」（令和 7 年 8 月 29 日付け 健生が発 0829 第 5 号 厚生労働省健康・生活衛生局 がん・疾病対策課長通知）が発出され、今後は連携協議会において協議を行い、がん医療の集約化を進めることが明記されました。

これらを踏まえ、連携協議会では、検診後の精密検査を行う医療機関の皆様にご協力をお願いし、集約化を進めていくことを決議いたしました。

つきましては、貴院におかれまして、検診後の精密検査の結果、がんと診断された患者については、別紙のとおり、沖縄県が選定した「がん診療を行う医療施設」へ優先的にご紹介いただきますようお願い申し上げます。

今後とも、本県がん医療の質向上に向け、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

添付資料

- 1 沖縄県ホームページ：がん診療を行う県内医療施設

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/iryokenko/shippeikansensho/1005229/1006327.html>

- 2 沖縄県ホームページ：がん診療を行う医療施設一覧（PDF）

https://www.pref.okinawa.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/006/327/ganitiran_2025.01.pdf

- 3 沖縄県ホームページ：掲載要件（PDF）

https://www.pref.okinawa.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/006/327/youken.pdf

- 4 おきなわ がんサポートハンドブック（該当ページ抜粋）

<https://okinawagansapo.jp/first/first4-4/>

- 5 冊子「おきなわ がんサポートハンドブック 2025年版」

※ 毎年更新している県内がん医療情報誌で、今年4月に琉球大学病院がんセンターより一部の医療機関へ配布済み。

※ P24～P25に「要件を満たす、がん診療を行う県内医療施設一覧」を掲載。

本文書に関する問合せ先：琉球大学病院がんセンター

センター長：増田昌人

Mail：mmasuda@cs.u-ryukyu.ac.jp

担当事務：石川

Mail：hk209555@jim.u-ryukyu.ac.jp

電話：098-894-1528

琉大西総第 611 号

令和 8 年 1 月 吉日

各医療機関
施設長 殿

沖縄県がん診療連携協議会 議長
(琉球大学病院長)
鈴木 幹男
(公印省略)

沖縄県が選定した「がん診療を行う医療施設」についてのご案内（通知）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本県のがん医療の推進に関し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「沖縄県がん診療連携協議会」（以下「連携協議会」という。）は、各都道府県知事宛て通知「がん診療連携拠点病院等の整備について」（令和 4 年 8 月 1 日付け 健発 0801 第 16 号 厚生労働省健康局長通知）に基づき、県内のがん対策を強力に推進するために設置されている協議会です。

連携協議会では、沖縄県からの協力依頼を受け、「がん診療を行う医療施設一覧」の掲載要件について検討・提案を行ってまいりました。現在、沖縄県はその掲載要件に基づき「がん診療を行う医療施設」の選定を行っており、結果は県ホームページに公表されています（URL は添付資料を参照）。

また、都道府県衛生主管部（局）長宛て通知「2040 年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に係る基本的な考え方及び検討の進め方について」（令和 7 年 8 月 29 日付け 健生が発 0829 第 5 号 厚生労働省健康・生活衛生局 がん・疾病対策課長通知）が発出され、今後は連携協議会で協議を行い、県内のがん医療の集約化を進めていくことが明記されました。

これらを踏まえ、連携協議会では、がん医療の集約化を推進する一環として、沖縄県が選定した「がん診療を行う医療施設」について、県内すべての医療機関の皆様にご理解いただくことが重要であると考え、周知を行うことといたしました。

つきましては、添付資料をご確認いただき、趣旨をご理解賜りますようお願い申し上げます。

今後とも、本県がん医療の質向上に向け、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

添付資料

- 1 沖縄県ホームページ：がん診療を行う県内医療施設

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/iryokenko/shippeikansensho/1005229/1006327.html>

- 2 沖縄県ホームページ：がん診療を行う医療施設一覧（PDF）

https://www.pref.okinawa.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/006/327/ganitiran_2025.01.pdf

- 3 沖縄県ホームページ：掲載要件（PDF）

https://www.pref.okinawa.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/006/327/youken.pdf

- 4 おきなわ がんサポートハンドブック（該当ページ抜粋）

<https://okinawagansapo.jp/first/first4-4/>

- 5 冊子「おきなわ がんサポートハンドブック 2025年版」

※ 毎年更新している県内がん医療情報誌で、今年4月に琉球大学病院がんセンターより一部の医療機関へ配布済み。

※ P24～P25に「要件を満たす、がん診療を行う県内医療施設一覧」を掲載。

本文書に関する問合せ先：琉球大学病院がんセンター

センター長：増田昌人

Mail：mmasuda@cs.u-ryukyu.ac.jp

担当事務：石川

Mail：hk209555@jim.u-ryukyu.ac.jp

電話：098-894-1528

おきなわがんサポートハンドブック2025年度版

(4)がん診療を行う医療施設の一覧

4

県内の医療体制

病院名	大腸がん	肺がん	胃がん	乳がん	子宮がん	肝臓がん	胆道がん	膵臓がん	食道がん	前立腺がん	甲状腺がん	血液腫瘍	放射線療法
県がん診療連携拠点病院													
琉球大学病院	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域がん診療連携拠点病院													
沖縄県立中部病院	○	—	○	○	○	—	—	—	—	○	○	○	○
那覇市立病院	○	—	○	○	—	—	○	○	—	○	—	○	○
地域がん診療病院													
北部地区医師会病院	上記のがん診療連携拠点病院と連携してすべてのがんに対応しています。												
沖縄県立宮古病院													
沖縄県立八重山病院													
その他の医療機関													
たいら内科クリニック	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—
中頭病院	○	○	○	○	—	○	○	○	—	○	—	○	○
中部徳洲会病院	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	○	—
ハートライフ病院	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国立病院機構 沖縄病院	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
浦添総合病院	○	—	○	○	—	○	○	○	—	—	○	—	—
宮良クリニック	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マンマ家クリニック	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—

4

県内の医療体制

病院名	大腸がん	肺がん	胃がん	乳がん	子宮がん	肝臓がん	胆道がん	膵臓がん	食道がん	前立腺がん	甲状腺がん	血液腫瘍	放射線療法
沖縄赤十字病院	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○
沖縄協同病院	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
那覇西クリニック	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
那覇西クリニック まかび	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南部医療センター ・こども医療センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
南部徳洲会病院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○
友愛医療センター	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○

(2024年6月時点)

■がん診療を行う医療施設

沖縄県が2023年に実施した医療機能調査で、「がん診療を行っている」と回答した県内医療施設のうち、掲載要件を満たすことが確認された医療施設です。掲載されていない医療施設においても、がん診療を行っている場合があります。

この掲載要件の選定には、がん種ごとに県内を代表する医師が集まって検討しています。専門家の検討を経て決定された掲載要件を満たした医療施設ですから、一定の質を確保していると考えられます。

出典：沖縄県公式ホームページ（保健医療介護部健康長寿課）
がん診療を行う県内医療施設



医師の異動等で対応できるがん種や治療の範囲が変わる可能性もあります。詳しくは各病院にお問い合わせください。

セカンドオピニオンおよび実施施設の連絡先 [➡P15](#)

がん診療を行う医療施設の連絡先一覧 [➡P26](#)

おきなわがんサポートハンドブック2026年度版

第1部 納得して治療を受ける

(4) がん診療を行う医療施設一覧

病院名	大腸がん	肺がん	胃がん	乳がん	子宮がん	肝臓がん	胆道がん	膵臓がん	食道がん	前立腺がん	甲状腺がん	血液腫瘍	放射線療法
県がん診療連携拠点病院													
琉球大学病院	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域がん診療連携拠点病院													
沖縄県立中部病院	○	—	○	○	○	—	—	—	—	○	○	○	○
那覇市立病院	○	—	○	○	—	—	○	○	—	○	—	○	○
地域がん診療病院													
北部地区医師会病院	上記のがん診療連携拠点病院と連携してすべてのがんに対応しています。												
沖縄県立宮古病院													
沖縄県立八重山病院													
その他の医療機関													
たいら内科クリニック	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—
中頭病院	○	○	○	○	—	○	○	○	—	○	—	○	○
中部徳洲会病院	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	○	—
ハートライフ病院	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国立病院機構 沖縄病院	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
浦添総合病院	○	—	○	○	—	○	○	○	—	—	○	—	—
宮良クリニック	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マンマ家クリニック	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第1部 納得して治療を受ける

病院名	大腸がん	肺がん	胃がん	乳がん	子宮がん	肝臓がん	胆道がん	膵臓がん	食道がん	前立腺がん	甲状腺がん	血液腫瘍	放射線療法
沖縄赤十字病院	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○
沖縄協同病院	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
那覇西クリニック	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
那覇西クリニック まかび	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南部医療センター ・こども医療センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
南部徳洲会病院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○
友愛医療センター	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○

(2024年6月時点)

■がん診療を行う医療施設

沖縄県が2023年に実施した医療機能調査で、「がん診療を行っている」と回答した県内医療施設のうち、掲載要件を満たすことが確認された医療施設です。掲載されていない医療施設においても、がん診療を行っている場合があります。

この掲載要件の選定には、がん種ごとに県内を代表する医師が集まって検討しています。専門家の検討を経て決定された掲載要件を満たした医療施設ですから、一定の質を確保していると考えられます。**まずはこれらの施設での診療をおすすめします。**

出典：沖縄県公式ホームページ（保健医療介護部健康長寿課）
がん診療を行う県内医療施設



医師の異動等で対応できるがん種や治療の範囲が変わる可能性もあります。詳しくは各医療施設にお問い合わせください。

セカンドオピニオンおよび実施施設の連絡先 ➡P13
がん診療を行う医療施設の連絡先一覧 ➡P24

3 県内の医療体制

22

3 県内の医療体制

23

琉大西総第 609 号

令和 8 年 1 月 19 日

沖縄県保健医療介護部長
糸数 公殿

沖縄県がん診療連携協議会議長
(琉球大学病院長)
鈴木 幹男
(公印省略)

「がん診療を行う医療施設一覧」掲載要件見直しへの協力依頼について (回答)

令和 6 年 12 月 26 日付け保健第 606 号にてご依頼のありました標記の件について、令和 7 年 11 月 7 日 (金) に開催された「令和 7 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会」において検討した結果、別添のとおり決議しましたので、掲載要件見直しに関する本協議会としての見解を下記のとおり回答します。

記

別添

- 資料 1 修正案 1 (総論)
- 資料 2 修正案 2 (各論)
- 資料 3 修正箇所の概要と修正理由

本文書に関する問合せ先：
琉球大学病院がんセンター
センター長 増田昌人
担当事務 石川千穂
電話： 098-894-1528
Mail：hk209555@jim.u-ryukyu.ac.jp